【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No.27

このメールマガジンは、NPO法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――――――――――□◇□◇□◇□◇□◇

◆NPO法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆
「リバティ・パブ」
2019-12-1 No.27

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――――――――――□◇□◇□◇□◇□◇

リバティ・パブとは…
自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、
情報を共有する場です。

・リバティ…Liberty(自由)
・パブ……Publication（出版）とPublic House（公共の場）、PUB（大衆酒場）を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、
「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。
著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り
出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。
リバティ・パブで一緒にこの文化を広めていきましょう。

□□ ――――――――――――――――――――――――――――――――――――――― □□

こんにちは！日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原由美です。

今年は秋に暖かい日が続き、紅葉がイマイチのまま散ってしまうところもあり、
最近の温暖化のせいか、大好きな秋が短くなっているのでは、と残念な今日この頃。

ですが、令和元年も残すところ1ヵ月。
ちょうど昨年の今頃から話し合いが進められていた自費出版フェスティバルや
即売会も２週間後に迫ってきましたね。

令和元年の締めくくり、盛会を祈るばかりです。

それでは、「リバティ・パブ」№27をお届けいたします。

◆◆◆◆◆◆◆◆　ＣＯＮＴＥＮＴＳ　◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1. お知らせ……　2019日本自費出版フェスティバル
12月15日（日）に開催
2. お知らせ…… 第33回自費出版アドバイザー養成講座
12月14日（土）に開催

3. お知らせ……　2020岐阜全国大会の日時会場が決定
2020年5月16日（土）

4. 自費出版事情…　～会員便り～№24

☆ 知っとこ 岐阜　☆ その 7

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

□□　――　□□

1.お知らせ　…2019日本自費出版フェスティバル
12月15日（日）に開催

□□　――　□□

「2019日本自費出版フェスティバル」（第22回日本自費出版文化賞
表彰式と第1回日本自費出版即売会）が12月15日（日）に開催されます。
ボランティアの方含め、皆様のご来場をお待ちしています。

□□　――　□□

2.お知らせ　…第33回自費出版アドバイザー養成講座
12月14日（土）に開催

□□　――　□□

第33回自費出版アドバイザー養成講座が、日本自費出版フェスティバルの
前日の12月14日（土）14：20に開催されます。
今回は「大手出版社の自費出版編集者の仕事」で、小学館スクウェア
元社長で編集を経験した大山邦興氏が、自費出版編集の仕事に
どのように向き合っているのかを語ってもらうセミナーです。
今回も見逃せない内容です。

申込は事務局か
アドバイザーの会事務局長の宮川miyagawa@bun-shin.co.jp まで。

□□　――　□□

3. お知らせ …2020岐阜全国大会の日時会場が決定

□□　――　□□

来年の日本自費出版全国大会「２０２０岐阜全国大会」の開催日と
会場が決定しました。
２０２０年５月１６日（土）開催で、会場はホテルグランヴェール岐山です。
今回は、社員の皆さんも参加しやすいようにと、土曜日開催にしてみました。
当日は、例年のように、総会・アドバイザー養成講座・全国大会セミナー・
懇親会が行われます。
なお、セミナーの内容希望がありましたら一報願います。
では、詳細が決まりましたら報告いたします。

ホテルグランヴェール岐山
〒500-8875　岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地
TEL：058-263-7111
https://grandvert.com/
総会会場1室・宴会場1室・シングル15部屋確保（早めのご予約を）

□□　――　□□

4. 自費出版事情　…　～会員便り～ №24

□□　――　□□

サンライズ出版
　編集部　矢島潤

『自費出版年鑑』でお世話になっている
滋賀県のサンライズ出版です。

当地は大河ドラマの舞台になることが多いのですが、
来年の「麒麟がくる」の主人公・明智光秀も、
坂本城を居城とし、西教寺（いずれも大津市）に
お墓があるなど、滋賀ゆかりの人物です。

小社も関連書籍として、
今年６月に『明智光秀と近江・丹波　分国支配から「本能寺の変」へ』、
10月に『明智光秀ゆかりの地を歩く』を出したばかり。

「麒麟がくる」は準ヒロイン役が急遽交代と、
撮影現場は殺人的なスケジュールでしょうが、
関連ムックなどの編集部も悲鳴を上げていることでしょう。
（すでに印刷済みの版元もあったのでは……）

小社には、女優さんのインタビューや
顔写真付きの人物相関図などを載せる力はないので、
上記書籍２点ともそんな騒動とは無関係なのですが、
今のうちに売れてほしいなあと、実は下心見え見えですみません。

□□　――　□□

☆　知っとこ　岐阜　☆ その7

□□　――　□□

知っとこ岐阜　その7

川端康成『篝火』『非常』『南方の火』その1

前回，岐阜が舞台の映画や小説についてお話しましたが、
今回から数回に分けて私がお勧めする「これを読むと岐阜を訪れたくなる小説」
をご紹介していきます。

まず最初は、川端康成の『篝火』『非常』『南方の火』です。
これは別々の時期に発表された３つの短編ですが、川端文学を知るうえで
とても大切な作品となっています。川端若き日の恋と失恋を描いた私小説です。
しかし残念なことに「篝火」以外の２つの短編は「川端康成全集」（新潮社）
でしか目にすることができません。

川端がまだ学生の頃、結婚の約束までした女性がいたことをご存知でしょうか。
しかし、その恋は悲しい終わりを迎えてしまいます。川端の初期の作品には
この時の出来事がかなり詳しく書かれています。
それほどまでにこの失恋は若い川端の心を突き刺し、その後の川端作品に
大きな影響を及ぼしました。一説には『伊豆の踊子』の踊り子には、
この女性の面影が重ねられているともいわれています。

大まかなあらすじ（小説の中では個人名は変えてあります）

大正８年（１９１９）、第一高等学校の学生であった２０歳の川端は、
友人と出掛けたカフェで、女給をしていた７歳年下の伊藤初代と知り合い、
まだ幼さの残る初代に恋心を抱きます。
その後、初代は縁あって岐阜の西方寺というお寺の養女になるため東京を
離れてしまいます。川端は初代に逢いに２度岐阜を訪れ、自分の気持ちを
打ち明けるとともに結婚の意思を伝え、初代もそれを承諾します。
川端２２歳、初代１５歳のことでした。
東京に戻り、初代を迎える準備を進める川端のもとに、『非常』と書かれた
手紙が届きます。そこには、
「私はあなた様と固くお約束をしましたが、私にはある非常があるのです。」
「その非常を話すくらいなら、私は死んだ方がどんなに幸福でしょう。」
「どうか私のような者はこの世にいなかったとおぼしめして下さいませ。」
という、初代からの一方的な別れの手紙を受け取ります。
不安な気持ちをかかえながらも川端は、取るものも取りあえず東京から岐阜に
駆け付けたのです。

小説の中には実際の岐阜の街並が多く描写されています。
次回は川端の目線を通し、初代と過ごした岐阜の風景を書いていきたいと思います。

　株式会社 岐阜文芸社　　飯尾みゆき

****

★あとがき

「自費出版事情」は先月に引き続き、編集側の方に寄稿いただきました。
大河ドラマからブームになる名所も多いので、悪しき芸能ニュースも
追い風になるといいですね。

そしていよいよ来年の岐阜大会の日程と場所が決定しました。
皆さん、来年のスケジュールに早速入れてください!

「知っとこ岐阜」を読んで、「知らない岐阜」をとことん楽しんでみたいですね。
2020年はオリンピックもあって、いろいろ楽しみな年になりそうです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp　まで、お願いいたします。